



第69回日本学生科学賞（和歌山県審査）にて大健闘！

「第69回日本学生科学賞」の和歌山県審査が行われ、本校生徒の2つの研究が受賞し、中央予備審査（全国予備審査）へと進むことが決定しました。2つの研究は以下のとおりです。

① **県知事賞「2種の外来魚の生息環境と食性調査」**

3 I 木村俊介, 3 I 永井康喜, 3 I 林瞬志, 3 I 中尾晟玄, 3 H 栗栖祐喜

② **県議会議長賞「カエデの種子を応用した風力発電の開発」**

3 I 岸本彩乃, 3 H 柏田奈緒, 3 I 三島有央, 3 H 除田望央



環境科学科3年生



D-I グランプリ（ディベート本戦）を実施しました！

環境科学科3年生「SS環境科学探究VI」の授業では毎年、「ディベート本戦（D-I グランプリ）」を行っています。ディベートは、ある論題（テーマ）について、肯定派と否定派が議論を繰り広げ、その議論を聞いていた第三者が審判となり、どちらがより説得力があるかを判定します。ディベート学習を通して、論題背景や発言内容等の理解力、発言内容を客観的に分析する力（批判的思考力）、自らの考えを的確に効率よく伝える伝達力等が身に付きます。11月10日（月）、『日本は積極的安楽死を法的に認めるべきである。是か非か。』『日本は遺伝子組み換え食品を禁止すべきである。是か非か。』『日本は災害危険区域を非住宅地として指定すべきである。是か非か。』『日本は代理出産を合法化すべきである。是か非か。』『日本は炭素税を導入すべきである。是か非か。』『日本は商業捕鯨を禁止すべきである。是か非か。』についてディベートの本戦を行いました。審判には中学3年生、普通科2年生文系・環境科学科2年生の生徒が参加しました。当日は、非常に白熱した論戦が繰り広げられました。

